

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財) 全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2021年11月19日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書 (5日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	長崎県西彼杵郡長与町	代表者名	町長 吉田 慎一
担当者部署	総務部	連絡先電話番号	095-801-5781
担当者役職	課長補佐	担当者氏名	石川 俊介
住所	851-2185 長崎県長与町659番地1		

1-2. 推薦団体 (「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	
		連絡先E-mail	

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	三木 浩平
評価	大変よい
上記評価の理由 (どのようなところがよかったか等詳細に)	自治体DX推進に係る認識共有・機運醸成を図るため、自治体DXの基礎的な考え方及び他自治体の導入事例を紹介していただくなど、わかりやすい講習であった。 また、今回は一般職員向けに講習を行っていただき、自治体DXの推進に当たっては情報部門や行革部門だけではなく、全庁的な取組みが必要であることをご教示いただいた。
アドバイザーへの要望事項	特になし

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間 (分)	活動時間 (分)
3-1. 活動	2021年11月18日	13時15分	17時00分	45	180
	派遣形態	講演 (オンライン)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性 (職員、一般、企業等) について【自由記述】	人数
	職員 (管理職を除く) を2回 (1回目53名、2回目59名)	112 人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	テレワーク制度、RPA及び文書管理システムの導入など自治体DXの推進を図っているが組織体制が整っておらず、全庁的・一体的な取組となっていないため、「DXの認識共有・機運醸成」を図る必要がある。	
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	自治体DXの基礎的な知識を深めるとともに、他自治体の導入事例を紹介いただくことで、「DXの認識共有・機運醸成」を図ることを目指す。	
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	自治体DXの基礎的な考え方をご教示いただくとともに、CMSやRPAなどのツール及び他自治体の導入事例を紹介いただくことで、わかりやすい講習を行っていただいた。 また、住民目線に立った自治体DXを推進するためには、情報部門や行革部門だけではなく、住民と直に接する各部署が主体となって取り組むことが重要であることをご教示いただいた。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	自治体DXの基礎的な知識を深めるとともに、他自治体の導入事例を紹介いただくことで、具体的かつわかりやすい講習となり、「DXの認識共有・機運醸成」を図るきっかけとなった。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 後日、意見等を集約することとしている。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	⑤その他
事業の最終的な目指す姿	今回の講習会を受け、引き続き職員の認識共有・機運醸成を図るとともに推進体制を構築し、自治体DXの推進を図っていく。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

